

企業理念

MATERIALS INNOVATION

マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献します。

経営方針

JSRグループは、掲げている企業理念を実行するため、2つの軸により経営方針を構成しています。一つは、持続的成長を続けるための普遍的な経営方針としての「変わらぬ経営の軸」、もう一つは、社会の一員としての責任を表した「ステークホルダーへの責任」です。

変わらぬ経営の軸

絶え間ない事業創造

絶え間ない大きな社会ニーズの変化に対し、必要なマテリアルも変わり続けます。JSRは今ある事業に留まることはなく、常に新たな事業を創造することで、社会ニーズの実現に貢献し、持続的な成長を達成します。

企業風土の進化

変わり続ける社会ニーズへマテリアルを通じて応え続けるために、人材・組織は常に進化し続けます。自身の良き風土は維持しながらも新しいものを取り入れ、進化するエネルギーに富んだ経営と組織を築き続けます。

企業価値の増大

マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。そのためには、顧客満足度の向上と社員の豊かさの向上を重視し続けます。

ステークホルダーへの責任

顧客・取引先への責任

JSRグループの全顧客・取引先に対する責任です。

- ・ 移り変わる時代の多様な材料ニーズに応えるため、変化への挑戦と進化を絶やしません。
- ・ 顧客満足の持続的な向上を目指します。
- ・ 全ての取引先に誠意をもって接し、常に公正・公平な取引関係を維持し続けます。
- ・ サプライチェーンにおける環境・社会に配慮し続けます。

従業員への責任

JSRグループ全社員に対する責任です。

- ・ 社員一人ひとりには公平な基準に基づき評価されます。
- ・ 社員には常に挑戦する場を提供し続けます。
- ・ 社員にはお互いの人格と多様性を認めあい、共に活躍できる場を提供し続けます。

社会への責任

我々が生活し、働いている地域社会、さらには全世界の人間社会に対する責任です。

- ・ 地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動(レスポンシブル・ケア)を行い続けます。
- ・ 地球環境負荷低減を含めた地球環境保全のニーズに対し、環境配慮型製品を提供し続けます。
- ・ 製品ライフサイクル全体から発生する環境負荷の削減に努めるとともに、環境安全配慮を行い続けます。
- ・ 事業活動を通して、生物多様性の保全に積極的に貢献し続けます。

株主への責任

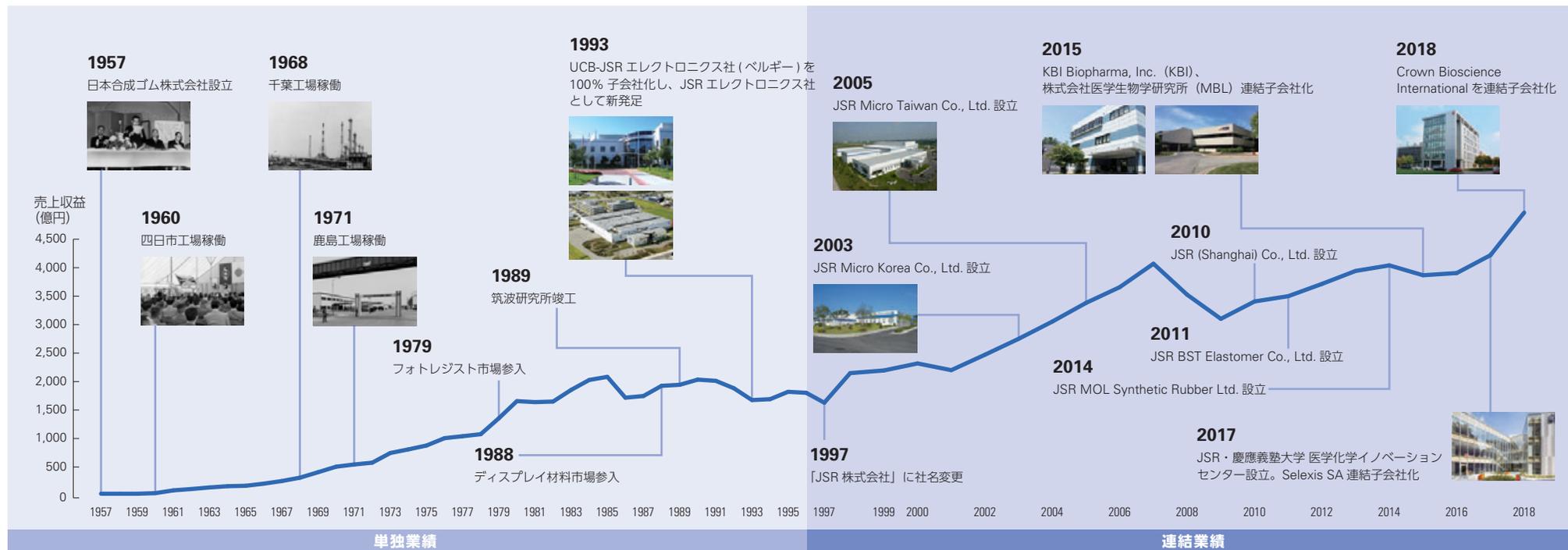
株主全体に対する責任です。

- ・ マテリアルを通じて事業機会を創出し、企業価値の増大を目指します。
- ・ 経営効率の向上を常に行います。
- ・ 透明性が高く健全な企業経営を行うことにより、株主に信頼される企業となります。

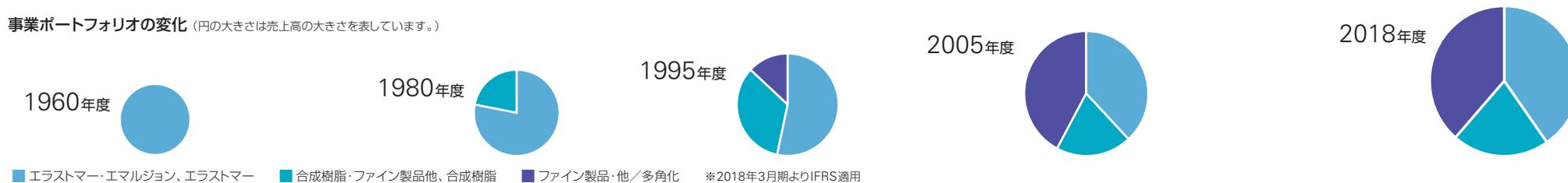
価値創造の軌跡

JSR株式会社は、1957年(昭和32年)12月に合成ゴムの国産化を目指して制定された「合成ゴム製造事業特別措置法」の施行により日本合成ゴム株式会社として設立されました。1969年(昭和44年)に民間会社へ移行し、合成ゴムからエマルジョンや合成樹脂へと石油化学系事業を展開するとともに、当社固有の高分子技術を活用して半導体材料・ディスプレイ材料・光学材料等へ業容を拡大し、情報電子材料を核としたファイン事業を推進してまいりました。事業内容の変革に伴い、創立

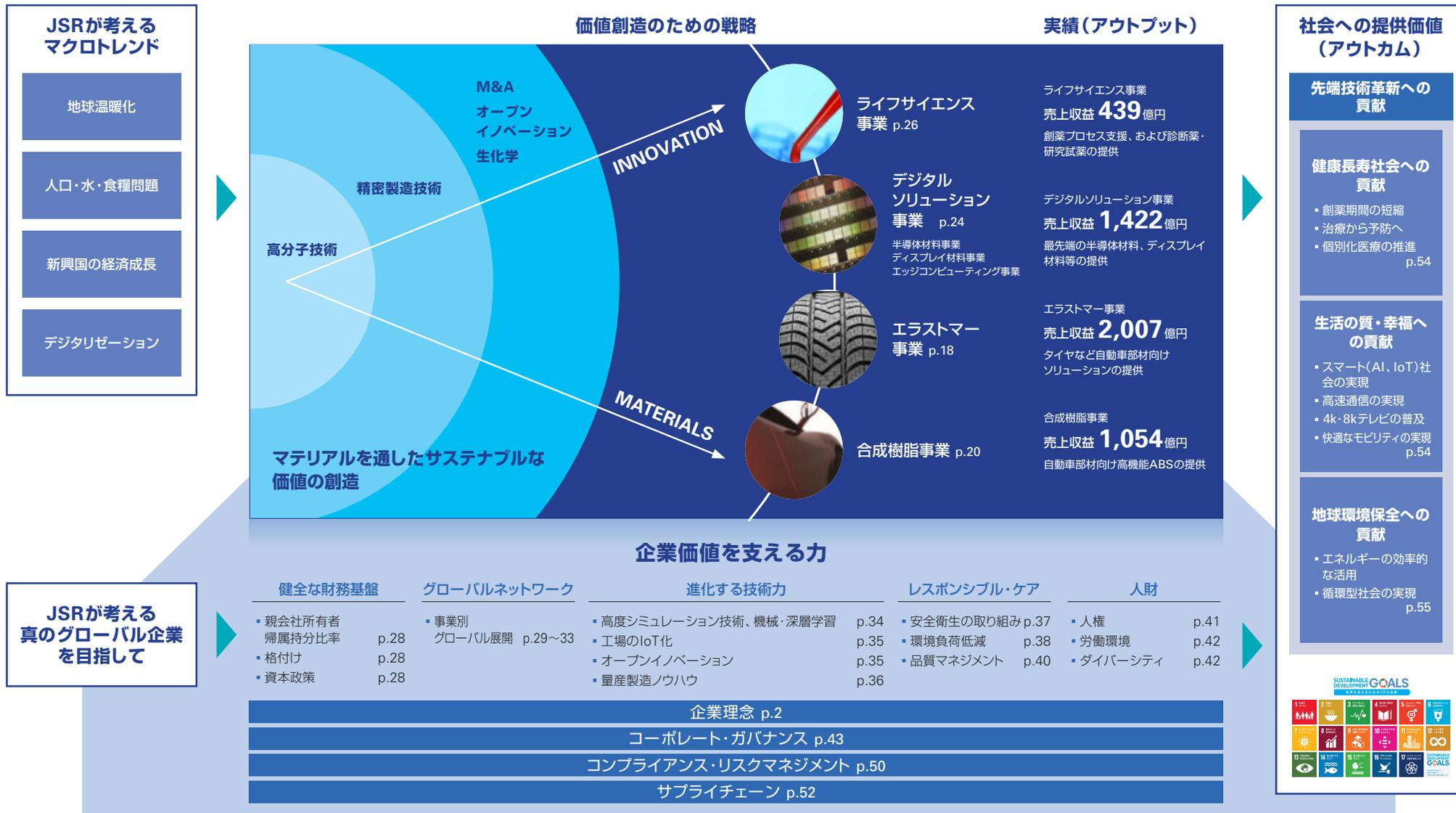
40周年(1997年12月10日)を機に社名を「JSR株式会社」に変更いたしました。足元では、第3の柱としたライフサイエンス事業はM&Aなどにより規模を拡大しており、合成樹脂事業も他社との事業統合が実現しました。また、従来のファイン事業はデジタルソリューション事業に変更して新たな展開を図るなど、各事業とも着実に課題を達成して収益の拡大につなげ、持続的成長を推進してまいります。



事業ポートフォリオの変化 (円の大きさは売上高の大きさを表しています。)



企業価値創造のプロセス



財務KPI(JSR20i9) p.06

- 売上高 **4,600** 億円
- 営業利益 **420** 億円台
- ROE **8%**以上
- 総還元性向 **50%**以上

非財務KPI

- 温室効果ガスを2013年度対比15%削減(2030年度)
- 設備災害、労働災害ゼロ
- ゴミゼロの目標の達成維持
- 女性管理職比率2020年3月末までに4.5%

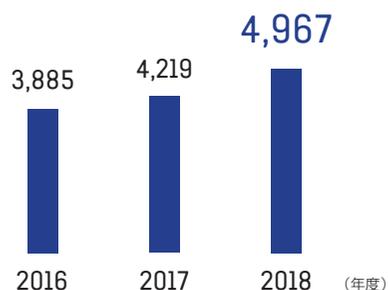
2018年度 財務非財務ハイライト

財務情報

財務資本

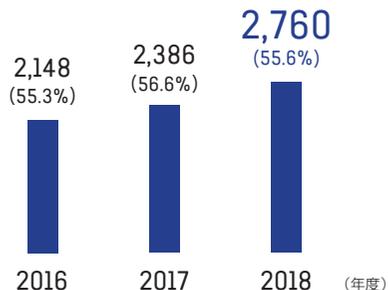
売上収益

(億円)



海外売上収益 (対売上収益比率)

(億円)



営業利益 (対売上収益比率)

430 億円
(8.7%)

親会社の所有者に帰属する
当期利益 (対売上収益比率)

311 億円
(6.3%)

配当性向

42.7 %

設備投資額

360 億円

ROE

7.8 %

非財務情報

人的・知的資本

従業員数 (グループ連結)

8,748 人
(2019年3月末)

〈女性管理職比率〉

4.1 %
(JSR単体)

〈障がい者雇用率〉

2.43 %
(JSR単体)

研究開発費

249 億円

※グループ全体、仕入品にかかる受託研究費を含む

社会・関係資本

グローバルネットワーク

国内※ 28 拠点
海外 41 拠点

※JSR本社、主要製造施設・研究施設および21のグループ会社を含む

保有特許件数

7,051 件

労働災害発生件数

・JSR株式会社 0 (0)
・JSR株式会社協力会社員 1 (0)
・国内グループ企業 2 (3)
・国内グループ企業
協力会社員 0 (2)

※カッコ内は不休業災害

自然資本

温室効果ガス排出量

1,078 千トン-CO₂

※JSR株式会社、国内グループ企業、海外グループ企業合計値、Scope1+Scope2

エネルギー使用量 原単位

0.36 kL/トン

※JSR株式会社のみの数値、国内グループ企業は0.18、海外グループ企業は0.56

中期経営計画進捗状況

2017年4月よりスタートした中期経営計画「JSR20i9[※]」では、高機能タイヤ用溶液重合SBR(エラストマー事業)・半導体材料・ライフサイエンス事業を成長ドライバーと位置づけ、収益の拡大を推進します。また、デジタル化への対応を通じた労働生産性向上にも取り組み、未来に向けた競争力の強化を進めていきます。

世界的な多角化および多極化の傾向は、今後ますます加速すると予測されています。当社は、このような環境変化を、企業理念に基づく取り組みを通じて企業価値を向上する機会と捉えています。

JSR20i3[※]
Phase I

JSR20i3の成果

- 成長に向けた戦略明確化
- 資源投入の意思決定

JSR20i6[※]
Phase II

JSR20i6の成果

- グローバル化の進展
- 戦略事業の整理統合とライフサイエンス事業への集中

JSR20i9[※]
Phase III

「未来に向けた競争力強化」

JSR20i9のミッション

- SSBR、半導体材料、ライフサイエンス事業による確実な利益成長

将来にわたる持続的成長により、ステークホルダーへの責任を果たしていく

財務KPI(JSR20i9)

売上高 **4,600** 億円

ROE **8%**以上

営業利益 **420** 億円台

総還元性向 **50%**以上



※「JSR20i3」(ジェイエスアールにせんじゅうさん)、「JSR20i6」(ジェイエスアールにせんじゅうろく)、「JSR20i9」(ジェイエスアールにせんじゅうきゅう)は、企業理念であるMaterials Innovationを執行すべく、innovationを強調して「i」を使用して表記しています。

※2018年3月期よりIFRS適用